

2023 年度

ケヤキッズベビールームの自己評価

【自己評価結果の公開について】

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。

この事を踏まえ、ケヤキッズベビールームではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育園の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めて参ります。

1、保育目標

心身共に健やかな生活を送る中で、周囲に対し感謝の気持ちを持つ

年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児
ね ら い	・保健的で安全な環境の中で、一人ひとりのこどもが周囲から受け止め、認められながら、自信・安定感・信頼感を感じ将来にわたる心の基盤を築く	安心できる保育者との関係を基盤として自発性、探索意欲が高まり生きていくうえで必要な数多くの行動を身に付けていく	自立心を大切にしながら、こどもの関心や探索意欲を高め、そこで得られた喜びや感動を保育者やこども同士で共感することで自信に繋げる

2、1 年間の取り組み状況

《みらいキッズラボ》

姉妹園（ケヤキッズ保育園、ベビールーム、スマイルルーム）の3園で、3つのチーム（コミュニティラボ・アートラボ・ネイチャーラボ）に分かれ、各チーム活動内容を決めて活動した際はドキュメンテーションを作成してまいりました。

《アカナコカーナ》

日々の連絡帳や送迎時などでお子様についての悩みや相談等をお話する時間はありましたが、園ではなく本部に来ていただきお子様について私たち保育者と共に考え・共に悩んで・共に話し合う時間を作ってまいりました。お子様について楽しく話し合える時間とし

て、2か月に1回で行っていき、その中でワークショップを行いました。保護者の方も楽しみながら制作して下さり、ゆっくりとご家庭でのお子様の様子を詳しく伝えてくれる機会となりました。

《食育》

乳幼児期の食のねらい

- ・お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう
- ・色々な食べ物を見る・触る・噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする
- ・色々な種類の食べ物や料理を味わう
- ・食生活の基本的な習慣や態度に関心を持つ
- ・保育者を仲立ちとして、友だちと共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう

これらのねらいを発達に合わせて月の目標としてたて、毎日の食事・おやつを通して、言葉かけや援助を行い育てていきました。併わせて食べ物の絵本を読む、野菜を育てて本物の野菜に触れるなどの活動を取り入れ、食材への興味を高め、食べる事への意欲につながるよう行ってまいりました。

3、1年を振り返って

今年度は担当制による学びと園の環境構成について、保育室内をこども主体の保育や、成長や動きに合わせて設定してきました。また職員は他園見学に行き育児担当制・環境構成について実際の現場を見ることで色々見えてきたので、必要な環境構成・担当制の学びについて話し合いました。ベビールームでは限られた環境の中でどのように保育を進めていくのかを考え、食事・午睡は担当制で行うことでこどもたちがより安心して園生活を送れると感じました。保育者との愛着関係の形成・異年齢保育環境を大切に来年度もこどもたちの心よりどころとなるように保育を行っていきたいです。

3園での交流や行事があり、こどもたちもケヤキッズ保育園の園庭で遊ぶ事を楽しんでいましたので、スマイルルームとの同年代での交流も大切に来年度も日頃からの交流を大切にしていきたいです。